



いちにちいちぜん 「一日一善」をやってみよう！

こうちょう あべ みつゆき
校長 安部 満之



みなさんは「一日一善」という言葉を聞いたことがありますか？
最近めっきりこの言葉を聞く機会がなくなってきました（その昔、
CMで観た記憶のある人も多いのではないのでしょうか）。この言葉
は「1日にひとつは、誰かのためによいことをしましょう」という
意味です。では、どんなことをすればよいのでしょうか。大きなこ
とをする必要はありません。落ちているごみを拾う。汚れている場所を掃除する。
困っている友だちに声をかける。町の中で荷物を重そうに運んでいる年配の方の
手助けをするなどなど。こう考えると、すぐにできる「よいこと（善）」は身のま
わりにたくさんあります。

一日一善をすることには、どんな効果があるのでしょうか。だれかのために何か
をしたとき「ありがとう」という言葉が生まれます。「ありがとう」は言った人も
言われた人も幸せになれる、魔法の言葉です。一日一善を心がける人が増えれば
増えるほど、それだけたくさんの「ありがとう」が生まれていきます。「ありが
と」と言われたら、うれしくなりどんどん善い行いが広がっていきます。

また、人から認められたり、誰かの役に立てたりする喜びの経験を積み重ねてい
くことで、自己肯定感や自己有用感も高まっていきます。さらに、その喜びの経験
によって生まれた自信から、他者を意識する心の余裕ができてきます。すると、
相手の気持ちを考えたり思いやったりすることができるようになり、相手のよさに
目を向け、自他共に認める心が育っていきます。その結果、さらに一日一善の輪が
広がり、だれにとっても過ごしやすい環境になります。
錦郡小学校も、「ありがとう」があふれ、だれもが安心
して、幸せに過ごせる学校になることを願っています。



こうつうあんぜんきょうしつ
<交通安全教室>



とんだばやしけいさつ かた き
 富田林警察の方に来ていただき、
 ぜんこうじどう たい こうつうあんぜんきょうしつ じっし
 全校児童に対し、交通安全教室を実施しました。
 とくに、じてんしゃ の かた おし
 とくに、自転車の乗り方について教えていただきました。

ねんせいえんげきかんしょう
<2・3年生演劇鑑賞>



げきだん かた き
 劇団の方に来ていただき、ねんせい じどう えんげき
 2・3年生の児童に演劇のワークショップをしていただき
 ました。その後は、こ こくこ きょうかしょ で
 国語の教科書にも出てくる。カエルくんとガマくんのお手紙
 の劇を鑑賞しました。

ねんせい た う たいけん
<5年生田植え体験>



ちいき かた きょうりょく
 地域の方に協力していただき、た う たいけん
 田植えの体験をさせていただきました。どろ あし
 泥に足をとられながらも、みんなで協 力して、いちめん う
 一面に植えることができました。

にちじょう じゅぎょうふうけい
日常の授業風景



だるまになってゴロン



リズムをあわせよう

あたう がくねん じぶん き も
 新しい学年になれ、自分の気持ちが出せるようになってくるこの時期は、こどもど
 うしのトラブルもおきやすいです。き
 気になることがありましたら、がっこう そうだん
 学校に相談して
 くだ
 下さい。